

ブルネイの学生使節団が 人文学部を訪問



- * 三村学長よりご挨拶 *
- * クイズ形式での茨城大学紹介 *
- * けん玉などで交流会 *

10月3日午後、ブルネイからの学生使節団25人が人文学部を訪問、学部生たちと2時間半の交流会を楽しんだ。海外からの学生使節団の人文学部への来訪は、2月のパキスタンからの学生使節団に次いで2回目。バスに乗車した一行は、午後2時過ぎに、バスで茨城大に到着。そのまま、図書館3階のライブラリールームへ移動した。



冒頭、三村信男学長から、「茨大を知り、交流会を楽しんでください」との使節団に対する挨拶があり、留学生センターの杉浦秀行先生らによる大学紹介を皮切りに交流会が始まった。

杉浦先生は、英文のパワーポイントを駆使して、クイズ形式で、茨大の規模などの概要を説明。次に、海外の留学経験のある人文学部の野原愛さんが、日本の大学生を紹介するコーナーで、朝起きてから寝るまでの自分の1日をモデルケースに、パワーポイントを利用し、英語で披露し、拍手を



浴びていた。3番目のオーストラリアからの交換留学生のルーシー・タワーズさんも外国人留学生から見た茨大の魅力をPRした。



この後、人文学部棟に移動して交流会を再開、人文学部生3年の大内真結花さんと星野由季菜さんを司会に、茨大生とブルネイ学生の約40人が6つのグループに分かれて、自己紹介とディスカッションによる交流会に入った。一行は、日本の伝統玩具であるけん玉にもチャレンジし、午後4時半過ぎに帰途に就いた。



(終)

注、ビデオで撮影した交流会の様子は、後日ホームページにアップします。